

よろこび

日蓮宗 顕聖会

本山 妙顕寺

長谷山 本誓寺

『よろこび』十五

貫首 齊藤 日軌

五月の光と空気本当にさわやかで健やかですね。植物達の緑も眼にまぶしい今日この頃です。太陽さんの光を利用してデンブンを創る植物のシステムは、動物達の生命活動の源となるエネルギーを作っています。植物は、自分で有機物を作り出せる生物であり、動物はそれを利用して生活する生物です。植物は二酸化炭素と水を使って太陽光エネルギーをデンブンとして貯蔵し、動物はこの貯蔵されたものを分解してエネルギーとして利用しています。大気の酸素を作り出すのも、植物で、当に植物に私達人間の生命は依存しています。植物は二酸化炭素を使用して酸素をつくり出します。太陽は南無妙法蓮華經の御本仏であり、その光のようですね。

神仏はこのようなシステムにより、人類の生存を計っています。本仏の一念の光から三千の生命が存在します。しかも、その三千の存在は互いに助け合ってはじめて生存できます。これが本仏の光の下で全ての生き物が助け合って生活するよろこびの世界です。南無妙法蓮華經と本仏の光を受けて生活しましょう。



みおしえ

日蓮宗はいくつかの本山が連合し、総本山身延山を中心に集めた宗教組織です。本山は、もとより末寺を有しています。日蓮宗には五千二百ヶ寺が所属しています。本山佐野妙顕寺は別格本山と称し位の高い本山ですが、諸堂も老朽化しておりました。しかし皆さんの発心とご尽力で、本年六月には本堂、廊下、普賢堂、尊神堂、鐘楼、吉祥天のお宮、庫裏客殿の全ての工事が完成し、六月六日ついに本山妙顕寺始まって以来の本山会が開催されました。本山の妙顕寺も他のご本山に恥じることなく胸を張って各本山の四十名の貫首猊下をお迎えできます。これは檀信徒一同のよろこびです。

佐野妙顕寺は中老僧(ちゅうろうそう)・天目上人(てんもくしょうにん)が永仁二年(千二百九十四年)に開創したお寺です。天目上人は美濃阿蘭梨(みのあじやり)と称し、下野安蘇郡奈良洲村(しもつけあそぐんならさむら)で布教していたとき、唐沢城主の佐野家及び家臣の若田部源五郎光盛が帰依して一字を建立、同上人を開山に仰いだのが妙顕寺の始まりです。本山として、日本の中心佐野にある日蓮宗の本山です。本山として、日本の中心佐野にある日蓮宗の本山です。本山として、日本の中心佐野にある日蓮宗の本山です。

心の言葉

南無妙法蓮華經と唱え
本仏の光を世界に弘めよう

